








全校で取り組める子どもアイデアコンテストの実践例

全校で取り組むと、1年生から6年生まで幅広いアイデアが生まれます。学年を越えた伝え合いの活動では、上学年への憧れを抱いたり、下学年から刺激を受けたりと、日常の学習では体験できない学びがあります。全校共通の夏休み課題として取り組む実践例です。

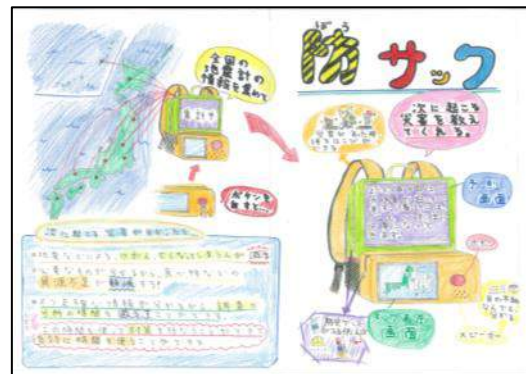
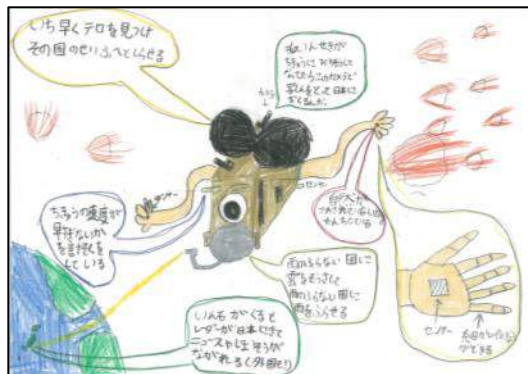
1 夏休み前 45分×2コマ授業（1コマ目：全校一斉指導）

ねらい	「未来にあったらいいな」と思うものを進んで考えようとする。		
	授業の様子	授業のポイント	準備物
はじめ 5分	 <p>プレゼン資料を使って全校に説明</p>	<p>○体育館などで、全校一斉に学習の趣旨を説明する。(HP「子どもたち向けプレゼン資料」)</p> <p>○HPやリーフレットに掲載された昨年度の入賞作品を紹介する。</p>	<p>プロジェクター スクリーン リーフレット</p>
なか 20分	 <p>一人一人ワークシートにまとめる</p>  <p>話し合いでアイデアを広げる</p>	<p>○一人一人、ワークシートに考えたアイデアを書く。(HP「ワークシート高学年版」、「ワークシート低学年版」)</p> <p>○友だちと自由に話し合い、アイデアを膨らませたり、アドバイスし合ったりする。</p> <p>○教師は巡回しながら、困っている児童にアドバイスをしたり、みんなに紹介したいアイデアを探したりする。</p> 	<p>ワークシート (高学年版・低学年版)</p>
おわり 20分	 <p>考えたアイデアを全校で紹介</p>	<p>○児童の考えたアイデアを紹介する。実物投影機で描いたワークシートを映し、児童がアイデアについて説明する。</p>	<p>実物投影機</p>

1 夏休み前 45分×2コマ授業(2コマ目:学級指導)

ねらい	友だちのアイデアをより良いものにしようと、グループで話し合い、良さを見つけたり、アドバイスしたりする。		
	授業の様子	授業のポイント	準備物
はじめ 3分		○前時に考えた自分のアイデアをグループの友だちに紹介し、互いにアドバイスし合って、より良いものにしていくことをつかむ。	
なか 30分	 <p>グループで話し合っ てアイデアをより良 いものにする</p>	○3～4人でグループを作り、一人一人アイデアを紹介し、互いにアドバイ スし合う。 ・アイデアの良さはどこか ・どんなアイテムがふさわしいか ・こんな機能があったらいいね など	ワークシート リーフレット
おわり 12分	 <p>再度自分でアイデアを練り直す</p>	○友だちのアドバイスを受けて、再度自分のアイデアを練り直し、絵や言葉で表現する。	

2 夏休み中の全校共通課題



夏休みに、全校の共通課題として取り組み、アイデアの絵を完成させる

3 子どもアイデアコンテストへの応募

4 応募後の取り組み例



完成したアイデアの絵のコピーを
掲示し、「校内コンテスト」を行う

○完成したアイデアの絵をスキャナーでコピーし、色画用紙に貼って廊下に掲示して「校内コンテスト」を行う。

○授業参観日等に、保護者や地域の方に見てもらえることができる上、他学級、他学年のアイデアを見ることができ、翌年の参考にもなる。



○最終審査に残ったり、「校内コンテスト」で入賞したりした児童は、全校の前でプレゼンをする、表現力の向上や翌年のコンテストへの意欲の高まりが期待できる。



後方の児童にも模型作品の工夫が見えるよう、実物投影機を使って、スクリーンに写し出す。



○模型作品は廊下に展示し、次年度以降の参考とできるようにする。

【全校で取り組むことで】

- この学習で必要な思考力、判断力、表現力について、学年ごとの実態が見え、それらの力を系統的に育てていくための材料とすることができます。毎年実践を積み重ねていくことで、児童の変容も分かります。
- 各学年の教科指導に関連し、国語科・図工科と合科的に取り組むこともできます。